

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

理念に基づく運営	項目数	11
1. 理念の共有		2
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を実践するための体制		3
5. 人材の育成と支援		2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援		2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		6
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		11
1. その人らしい暮らしの支援		9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		30

事業所番号	1472700085
法人名	有限会社 そうりん
事業所名	山ゆりの家 三崎口
訪問調査日	平成21年3月19日
評価確定日	平成21年4月8日
評価機関名	福祉サービス第三者評価機関しょうなん 株式会社フィールズ

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成 21年 3月 25日

【評価実施概要】

事業所番号	第1472700085号
法人名	有限会社 そうりん
事業所名	山ゆりの家 三崎口
所在地	三浦市初声町下宮田650-15 (電話) 046-889-1880

評価機関名	福祉サービス第三者評価機関しょうなん株式会社フィールズ		
所在地	藤沢市鵜沼橋1-2-4 クゲヌマファースト3F		
訪問調査日	平成21年3月19日	評価確定日	平成21年4月8日

【情報提供票より】(平成 21年 1月 26日事務所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 10年 9月 1日			
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9人	
職員数	11人	常勤 5人	非常勤 6人	常勤換算 7.9人

(2) 建物概要

建物構造	(軽量鉄骨)造り	
	2階建ての	1,2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	54,000円と60,000円	その他の経費(月額)	300円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	300,000円	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	400円	昼食	800円
	夕食	800円	おやつ	円
	または1日当たり 2,000円			

(4) 利用者の概要 (1月26日 現在)

利用者人数	6名	男性	2名	女性	4名
要介護1	1名	要介護2	名		
要介護3	1名	要介護4	2名		
要介護5	2名	要支援2	名		
年齢	平均 86歳	最低	80歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	パシフィック・ホスピタル
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、京浜急行三崎口駅から徒歩10分の住宅地の中にあり、一般住宅をそのまま利用しています。建物の外観や内部は一般家庭そのもので、スタッフの笑顔に迎えられた時は、知り合いのお宅へ遊びに来たような温かみが漂っていました。毎日の利用者への支援も、お客様ではなく、家庭にいるのと同じような気持ちで過ごされるようにと、何事にも手を出し過ぎず一緒に関わり合っています。又開設10年の実績に裏打ちされた新しい理念の通り、スタッフは気持ちにゆとりを持ってサービス提供に努めており、グループホームの特長である家庭的な営みが実現できています。利用者の健康管理面でも、協力医療機関のパシフィックホスピタル等からの強い支援を受け、家族からの信頼度や満足度を高めるよう努めています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>改善課題は、理念の見直しと介護計画書書式の改善、ターミナルケアへの取り組みについてでしたが、職員全員の参加で改善されています。理念の見直しは、職員の言葉で判り易く表現されたものとなり、介護計画書の書式も利用者や家族の意向が見え易いフォームに改訂され、又ターミナルケアにも職員間で出来ること・出来ないことなどが話し合われたり、ターミナルケアの研修に積極的に参加し体制作りを進めています。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価は、事前に職員から意見を出して貰い、まとめ上げています。又日頃話し合っている「グループホームのあり方」などを参考に、現状の取り組みの事実を自己評価しています。前回の外部評価の改善課題への取り組みの結果や現在の状況についても、漏れなく評価を行っています。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>議題は、ホームから定期的な報告事項として、利用者の暮らしぶりや、ホームの行事、地域の催しへの参加、職員の研修参加などのホーム運営に関する報告が主な内容となっています。直近の会議では自己評価に関する報告を行い、改善活動への質問やアドバイスがなされています。しかし会議メンバーに自治会からの参加が無く、地域の意見を聞いたりする議題が少ないように感じられます。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族へは、毎月1回暮らしぶりなどを報告しています。主に家族の来訪時に報告していますが、家族が来訪されなかったり、緊急時等必要に応じてお手紙での状況報告や電話・ファックスなどで行っており、ホームと家族とのコミュニケーションは非常に良く、ホームの運営にも家族の意見等が活かされています。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会員や住民としての地域内での付き合いは長く、掃除や防災訓練にも参加しています。利用者も、地域の一員として受け入れられ、地域の市民スポーツ大会に参加を申し込むと、当日は車椅子席を用意して頂く等、地域の方々の多大な支援を受けています。今後は、地域ボランティアとの連携についても検討されることが望まれます。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自の理念作りは、昨年の外部評価後すぐに全職員で取り組み、自分達の言葉で判りやすく作り上げています。そこには、開設当初から培われてきた高齢者への想いが込められ、ホームへ高齢者を迎え入れる姿勢や、住み慣れた地域での生活環境づくり、高齢者を支える職員の心根などとしてうたっています。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	新しく作られた理念は、来訪者にも目に付きやすい玄関に掲げられ、利用者の家族等への浸透にも努めています。又ホームでは、毎日のミーティングや折に触れての話し合いで理念の共有化を図ると共に、理念の実践について話し合わせ、その実現に日々努力しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会員や住民としての地域内での付き合いは長く、掃除や防災訓練にも参加しています。利用者も、近くの公園へのゴミ出しや散歩、買い物などの外出時には声を掛けて頂き、地域の一員として受け入れられています。又市民スポーツ大会では車椅子席を用意して頂く等、地域の方々との交流する機会を得ています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、職員の意見を基にまとめ上げています。又外部評価に関しては、調査報告内容を職員とミーティングで話し合ったり、リビングに置き入居者の家族にも公開しています。改善取り組みを期待された項目には、日頃話し合っている「グループホームのあり方」などを参考に、積極的に改善活動に取組まれています。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は2ヶ月に1回位の割合で開催されています。議題はホームからの報告事項が主で、直近の会議では自己評価に関する報告を行い、改善活動への質問やアドバイスがなされています。しかし会議メンバーに自治会からの参加が無く、会議の場で地域の意見を聞いたり協力を要請したりはされていません。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所へは頻繁に足を運び、相談や意見を交換してホームの運営に役立てています。三浦市も参加されるグループホーム連絡会に参加して、空き情報などを交換し、入所希望の待機者への情報提供などに役立てています。又市や連絡会が計画する研修会の情報を入手し、職員の教育計画に繋げています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族への報告はホーム長の役割として、毎月1回暮らしぶりなどを報告しており、主に家族の来訪時に報告しています。家族が来訪しなかったり、緊急時等必要な時には、お手紙での状況報告や電話・ファックスなどで行っています。金銭管理についても預かり金の使途明細に領収書を添付しています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に備えられた記録簿からも家族の来訪の多さが伺え、ホーム長や職員は、家族の来訪時には何気なく意見や苦情などを話して貰えるよう努めています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の多くが年配の主婦で占められているため、働きやすい職場環境作りとその維持に力を注いでいます。例えば、楽な通勤を考えて近隣の方を採用したり、希望休を100%認めるなどしています。ちなみに職員の勤続年数は、平均4~5年と長く、職員の離職などによる利用者へのダメージを最小限に抑えています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	昨年度から教育の実施記録が一新され、誰が、いつ、どのような教育を受けたかが明確に判る仕組みとなり、特に職員別の継続研修の受講機会の適正化が可能になっています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市のグループホーム連絡会、ケアマネ連絡会に参加し、積極的な情報収集、交換活動に努めています。入居空き情報などは連絡会のネットワークの一員として利用希望者への情報提供に寄与しています。又、市や連絡会が開催する研修会に職員を参加させ、サービスの向上を目指しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気などに徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>新しい理念に示されている「入居者のありのままを受け入れる」ということを実践しています。家族から事前に利用者の現状の生活状況を聞かせてもらい、自宅での生活にできるだけ近い環境作りに努めています。又、利用者には、家族と一緒にホームでの生活や雰囲気などに触れていただき、徐々に馴染んで貰うよう工夫しています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、人生経験の長い利用者から素直に注意や教えを受けています。お互いの信頼関係が、教え教えられる関係を円滑にしており、庭の家庭菜園での野菜づくりも教え合いの共同作業で取り組み、収穫期には共に出来栄を喜び合っています。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時に利用者や家族より、詳細な聞き取りを行っています。意向の把握が困難な場合にも、家族から聞いたり、日頃のケアの関わりを通じて、好きな事、嫌いな事を表情やしぐさなどより把握して、介護記録に記載し、申し送り時やカンファレンスを通じて利用者の思いや意向を共有しています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は利用者や家族の意向、要望を聞きながら、職員間で話し合い作成されています。入居時にセンター方式の詳細なアセスメントを行い随時追記しています。塩分量や関節の運動方法などの医師からの指示も盛り込まれています。毎月の介護計画をファイルしてチェックを行い実施しています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>日々の申し送り時やカンファレンスで、月に1度以上見直しの機会が設けられています。「介護サービス計画評価書」により、振り返りの機会を設け、再アセスメントは6ヶ月毎に行われており、家族への説明も行われています。家族の要望や状況に変化があった場合には随時見直しています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	提携医療機関以外のかかりつけ医へも、管理者が受診支援を行っています。利用者が家族と共に外食をする場合に送迎を行ったり、入居の問い合わせがあった場合にも、市内のグループホームとの連携で空きのあるホームを紹介したり、柔軟な支援に努めています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の希望のかかりつけ医になっています。希望により、ホームの協力医療機関の紹介も行っています。受診時には必ず職員が付き添い日頃の様子や変化などを伝え連携しています。受診後には、「医療情報」のファイルに記載して、検査結果の写しと共に職員間の共有化が図られています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	状況に応じて、かかりつけ医と家族、管理者により、話し合いの機会が持たれ、方向性や方針の確認を行い、その結果を職員にも伝えていきます。ターミナルケアの研修にも積極的に参加してその報告会を行い、話し合いの機会を持っています。今までターミナルケアの希望はありませんが、備えた対応をしています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報は事務所内の鍵付き書庫で一括管理されています。全職員とは個人情報取り扱いに関する誓約書を交わしています。居室入室時のノックの徹底、利用者へ対応方法にも、一人ひとりのプライバシーにさりげない配慮が感じられました。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	それぞれの利用者のペースを尊重しています。朝の時間もゆっくりと休んでもらったり、食事の時間をずらしたり、居室で過ごすのが好きな方には、無理にリビングに誘わないで居室で過ごしてもらったり、出来るだけ利用者の希望や状態に応じた生活の支援に努めています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望を聞きながら、エプロンたたみやテーブル拭き、下膳やホットケーキ作りなどの支援を行っています。口腔体操を行ったり、状況に応じて、とろみ食やお粥、刻み食、また行事食なども取り入れています。献立のリクエストを募っています。職員は、同じテーブルで食事を取りながらさりげなく支援しています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴介助は一人ひとり行っています。安全に入浴していただく為に2人介助を行ったり、ぬるめの好きな方など湯の温度にも配慮しています。状況を見ながら順番を変えたり、体調が悪い場合や汚れた場合には入浴日以外でも入浴していただいています。最低週2回は入浴していただくように支援しています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	カーテンの開け閉めの係の方、朝の引き継ぎ時の挨拶担当の方、職員と一緒にごみ出しを行う方、雑巾を縫う方、洗濯ものたたみ、色鉛筆画、将棋の得意な方には職員がお相手をしたり、それぞれに応じた支援をしています。ホームの庭やプランターにじゃがいもなどを植えて収穫を楽しんでいただいています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は、ほぼ毎日、近隣の散歩やドライブ、買い物などに車いすの方も一緒に出かけています。その他、みかん狩りやお花見、三崎の海岸神社や近隣の妙音寺への初詣など行って、気分転換や活動意欲の向上に向け取り組んでいます。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関は施錠しておらず、鍵を掛けないケアに取り組んでいます。外出したようなサインがある場合には、職員と一緒に、近隣をお散歩して納得してもらっています。玄関は夜間のみ施錠していますが、職員は階段や玄関のフェンスにチャイムを付けて安全に気を配っています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防計画が作成されており、消防訓練も運営者や利用者が参加して年2回実施しています。玄関には防災用のヘルメットや担架等も整備しています。地域の防災訓練には管理者が参加して有事の協力を要請しています。次回は、消防署立ち会いの訓練や具体的な非難方法の指導を受けられることが望まれます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	協力医療機関の栄養士が作成したメニューを元に、工夫しながら支援しています。摂取量は水分・食事チェック表、排泄チェック表や温度表、体重表に記録され共有化されています。食欲の無い場合には、清涼飲料水や医師から処方された総合栄養剤など一人ひとりの状況に応じて支援しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	民家を改築して使用していますが、随所に手すりや椅子、テーブルが配置され、階段昇降機も設置されています。玄関には桃の花をはじめリビングにも季節の花や利用者の作品、写真が飾られています。日当たりの良い室内には、文字盤の大きい時計やカレンダーもあり、台所からごはんの炊ける匂いや調理の音を感じながら利用者は落ち着いて過ごしています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、ベッド、床灯台、加湿器が整備されていますが布団を使用している方もいます。タンスや引き出し、家族の写真やアルバム、趣味の品や冷蔵庫を持ち込んでいる方もいます。職員は掃除や換気にも気を配り、利用者はお気に入りの物に囲まれて居心地良く過ごしています。		

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	山ゆりの家 三崎口
(ユニット名)	ヤマユリノイエミサキグチ
所在地 (県・市町村名)	神奈川県三浦市初声町下宮田650-15
記入者名 (管理者)	高橋 栄子
記入日	平成21年 2月 5日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
<input type="checkbox"/>	地域密着型サービスとしての理念 1 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	昨年の外部評価を受けた後、スタッフ全員で話し合い自分たちの言葉で分かりやすく作り直しました。		
<input type="checkbox"/>	理念の共有と日々の取り組み 2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティング時や折に触れて話し合い、実現に向けて日々努力をしています。		
<input type="checkbox"/>	家族や地域への理念の浸透 3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ホーム内に張り出し、また運営推進会議の場でお話をさせていただいたりしております。		
2. 地域との支えあい				
<input type="checkbox"/>	隣近所とのつきあい 4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	入居様が散歩やゴミ出し・買物などで近隣の方にお会いすると声を掛けていただいたり、散歩時お花をいただいたり日常的な付き合いはできております。近隣より職員を数名雇用しております。		
<input type="checkbox"/>	地域とのつきあい 5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の掃除・防災訓練や地域の市民スポーツ大会などには必ず参加をして、交流に努めております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地区の掲示板を利用してホームを紹介し、高齢者に関しての相談窓口を検討してはとの意見をいただきましたが、未だに実施できていません。</p>		<p>一步前進して、今年こそは実現したいと思っております。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価については事前に職員が意見を出し合い、取りまとめました。ミーティングで話し合い、また折にふれてグループホームとしてのあり方を話っております。前回に出来ていなかった処は取り組みました。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議で自己評価のお話をさせていただき、出来ていなかった処を抜粋して、意見を頂きました。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事あるごとに足を運びまた電話で報告をしたり意見をいただいたりと、適切な運営が出来るように努力をしています。グループホーム連絡会に参加し、空き情報の交換なども行なっております。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者と職員は研修に参加をして学んでおります。成年後見制度については運営推進会議でも話題に上がり話し合いました。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修に参加をして学んでおります。虐待防止の意識は高く持っており、小さなキズやあざが見られた時にもスタッフで話し合い何時できたものなのか、把握に努めております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時や訪ねられた時などには、納得いくまでお話をさせていただいております。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>時折一人ひとりとお話をさせていただいており、問題があるときにはミーティングで取り上げて、問題解決に努力しております。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月1回又は、必要時にお手紙での状況報告を行っております。来館時にもお話をさせていただいております。必要に応じて電話での連絡も取っております。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>契約時苦情窓口の説明を行っております。管理者は苦情受付窓口になっており、ご家族の来館時には何気なくお話の機会を持つようにしております。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>常に職員からの意見や提案はあります。即できる事もあればミーティングで話合った後に調整する事もあります。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>必要時には残業をお願いしたり、休日でも勤務変更を行い出勤をしてもらったりと、話合いで調整をしております。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ワンフロアのため職員の移動はありません。入職時には一人一人の方に挨拶と説明を行っております。退職に関しては入居者様へのダメージの少ない説明をしております。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	先輩職員と組んでもらい、ワンツウマンで研修をしていただいております。法人外の研修も段階を見ながら受けてもらっています。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市のグループホーム連絡会に参加をし、毎月の入居状況の情報交換やケアマネ連絡会に参加をし交流を深めております。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	まずは受けてにまわり話を聞くようにしています。食事会を行い親睦を図っております。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	学ぶことが良いサービスの種に必要であると認識しており、働く職員の気持ちにゆとりが持てるように、職員の話聞くようにしています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族はもちろんのこと、入居前には訪問をし、ご本人様とお会いさせていただき、お話を伺うと共にコミュニケーションを取っております。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者様とお会いする前にはご家族とお会いし、ご家族としての思いや希望・要望などを伺い受け止める努力をしております。		

項目		(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	全体的な対応と今すぐ必要としていることの把握をし対応しております。	
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居に際しご家族と相談の上、ご本人が慣れるまでご家族に泊まっていたいただいた事もあります。入居前にご家族といっしょに来館していただき、雰囲気にならぬように馴染んでいただいたり必要に応じて工夫を行っております。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	長く人生を生きて来られており、教えていただくことも沢山あります。昔のお話をお聞きすると、生き活きとされお話をさせていただきます。	
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の来館時や毎月のお手紙で状況をお知らせしたり、写真を入れて見ていただいたり、外泊時ご自宅での状態を伺ったりと、喜怒哀楽を共に共有しております。	
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご本人とご家族の思いをお聞きして、ホームとして出来ることは行い調整しております。	
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の気持ちを受け止め、連絡が必要な時には連絡を行ったり、行きたい所があれば出来る限り叶えられるようにはしております。	遠くの場所(県外)のご自宅を希望されておられる方の希望は叶えられておりません。引き続きご家族との調整が必要です。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	リビングでの席を調整したり、話掛けを多くし誘ってみたりと孤立しないように関わっております。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後もお手紙を頂いたりしております。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所時にご本人やご家族の希望や要望をお聞きし、耳を傾けケアのヒントを得ながら、対応を行っています。ご本人の思いはご家族の思いと一致していることがほとんどです。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時又は事あるごとにお話をさせていただき、経過などの把握に努めております。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人一人の1日の過ごし方や状態などの申し送りを毎日、夜勤者から管理者とその日のリーダーに行い、リーダーから当日の出勤者に行い又、リーダーから夜勤者に送り、途切れることのないように全員が把握できるようにしております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	前回ご本人とご家族の意向が、前面に出ていないとのご意見をいただきましたので、介護サービス計画書の中に「ご本人とご家族の希望・要望」の欄を入れました。もちろんご本人やご家族のお話を聞き又、毎日関わっているスタッフの意見も取り入れて作成をしております。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月ごとにプランの見直しを行い、ご家族からの承諾もいただいております。見直し時はご家族とお話をさせていただき、往診医師からの意見なども取り入れ作成をしております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録は個別に毎日記録し、毎日の申し送り後、気づきや問題・変化などを話し合い、情報を共有し見直しに活かしております。		
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	当ホームは、格別な機能を備えてはいないが、医療面などへの対応はご本人やご家族の要望を基にした支援を行っております。通院の支援も行っております。		
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	最寄の警察署(発出所)に万が一の時のために、お伺いをしてホームの状況を伝えてあります。消防機関(救急)には度々お世話になっており、ホームの名前を告げただけでも分かっていたいております。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じて支援を行っております。(以前は訪問入浴を利用されている方もおりました。)		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括センターとの連携は不可欠ではあるが、現在は連携が取れておりません。		今後連携を密にして行く必要があると思っております。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人とご家族の希望される医療機関に受診ができるように支援を行っております。受診の介助も行っております。特に希望がなければ、当ホームの協力医療機関への受診を、ご家族了解のもとで支援しております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	往診医師が神経内科の専門医であり、指示や助言を受けて対応しております。(月2回往診を受けております)		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	往診時医師と一緒に来てくださる看護師さんに気軽に相談することができ、ファックスや電話にて相談をさせていただき、意見や支持などを受けております。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	退院に関しては医師とご家族が話し合われるため、口を挟むことは正直言って難しいが、情報交換に努めております。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	往診医師とご家族はお話をされており、方向性は確認されております。職員間でも話し、方針の共有を行っております。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医師とご家族との話し合いの後、職員間で出来ること・出来ないことを話し合いました。今後の変化に備えております。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	いまの所ホームから医療機関への移動しかありませんが、移動時は情報提供を行っております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>居室入室時はロックを行い又、排泄介助時はドアを閉めて行うなどのプライバシーに配慮しております。言葉使いに関してもミーティング時、話題にしております。</p> <p>職員の入社時には個人情報取り扱いに関する誓約書も取り交わしております。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>事あるごとにお話をさせていただきながら、希望や思いを受け止め納得された暮らしができるように支援をしております。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>それぞれのペース(その日の状態)に合わせて、起床時間や食事時間を他入居者様よりも遅くしたりしております。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>毎日鏡を見ながら整髪をしていただいたり、着用される服をご自分で選ばれる方もあります。散髪は美容師さんに来ていただき、希望を取り入れた髪型にしております。(外出時、ご家族がカットをされている方もあります)</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>個々の出来る力に合わせて食器を下げさせていただいたり、ご自分の前のテーブル(手の届く場所)を拭いていただいたり、食事用のエプロンをたたんでいただいたりしております。ホットケーキを焼き(こねる・焼く・トッピングをするなど)を入居者様に行っていただき食べたりしております。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>外出時かならずホフクリームを買われ、食べられる方がおります。なによりの楽しみにされております。外出前に財布を持っていただき出かけます。自分では支払いが分からないため、財布を開けお店の方に取っていただいております。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の排泄パターンを把握し支援を行なっております。お話をされなくとも、車椅子からの立ち上がりが見られた時には合図としたいトイレ誘導を行ない排泄を促しております。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には週2回提供をしております。一人一人のタイミングに合わせて順番を変えたり、便失禁多量でお体が汚れたりした場合など、必要に応じて入浴日以外でも入浴をさせていただいております。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの状態や希望に応じて、いつでも休憩できるようにしております。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家外に出る事が大好きな方には、散歩・買物・ドライブや毎日のごみ出しなどで出る機会を多くしております。針仕事(雑巾縫い)や洗濯物をたたんでいただいたり又、お庭でじゃがいもや胡瓜・トマトなどを育てて収穫をしていただき、皆様といっしょに食べたりしております。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分で支払いかが分からない方でも、外出時お財布を持っていただいております。ご自分で財布の口を開けて、お店の方に取っていただいております。以前(お元気だった頃)にはご自分で小銭を管理されていた方もおります。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・買物・ごみ出し・ドライブはもちろんのこと、地域のスポーツ大会・みかん狩り・お花見など出かける機会を作っております。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族が電車などで来館され、外食などに行きたい希望がある時にはホームの車で送迎をしております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話使用を希望された時には、いつでも使っていただけるようにしてあります。聞き取りが悪い方には職員が間に入り受け答えを支援しております。 届いたお手紙を読んでさしあげたりもしております。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来館時にこやかな対応とごあいさつはもちろんのこと、季節に合ったお茶をお出ししております。居室やリビング(希望される場所)で過していただいております。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マットコールやセンサーを使用し対応を行っております。 ベット上で立ち上がりが見られ転落の危険性がある方には、ベットを外しマット対応を行い、拘束をしないケアに取り組んでおります。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関に鍵はかけずオープンにしております。外に出られようとされる方には、職員が付き添いいっしょにひと回りします。居室に鍵はありません。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入室時にはロック・声掛けにて訪室し、夜間帯は時間毎に訪室し安全確認を実施しております。1階・2階と受け持ちを分担して、責任を持って安全に配慮しております。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬などは鍵のかかる場所に保管をし、刃物などの危険物は(夜間帯は)床下収納庫に移して管理しています。個人のT字型のひげそりや爪切りなども個々の引き出しに入れてお預かりしております。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	研修には参加をし、知識を得ております。 一人ひとりの危険性を見極め、申し送りにて職員全員に伝え事故防止に取り組んでおります。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的な訓練は行なっておりませんが、普通救命講習は職員全員が受けており、対応策のマニュアルはあります。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の防災訓練に参加をし、近隣の人々にホームの状況を話し、協力をお願いしております。ホーム内でも防災訓練を実施し、入居者様の非難方法を話し合っております。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご家族には来館時もしくはお手紙などで、折に触れて状況や状態などをお話させていただいております。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人ひとりの状態や状況を毎日の申し送りと申し送りノートへの記入を行い、確認したら(見たら)名前のチェックを行い情報を共有しております。即対応が必要な方には、夜間帯でも救急対応を行っております。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋をファイルしており、閲覧できるようにしております。毎日の服薬も、介助した人の名前を記入しチェックをしております。症状の変化が見られる時には医師へ報告し、薬の変更などをしていただいております。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	必要水分を飲んでいただく・トイレ誘導時にお腹のマッサージ施行・繊維性の多い食材を使用するなど工夫をしております。車椅子からの立ち上がりが見られる時には、静止せず歩行介助で体を動かさせていただいております。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床時の口腔ケアと毎食後の口腔ケアを実施しております。夜間帯は義歯のポリデント消毒も毎日行っております。歯科往診も受けております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態や病歴を把握し、医師からの意見も伺い量や栄養バランスを考えて支援をしております。水分は日中はもちろん、夜間帯にも飲んでいただいております。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗いうがいと消毒液で日に2回、手すり・ドアのぶ・車椅子の肘掛部分や常時手で触れる場所を拭いています。感染対策マニュアルを備えており、それをもとに実施しております。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所では殺菌作用のある洗剤で食器を洗い、その後乾燥機に入れて乾かしています。1日の最後には使用したまな板・ざる・スポンジ・たわし・布巾などもハイター消毒を行っております。食材も消費期限内に使い切っています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	もともと普通の民家だった為施設の雰囲気はなく、家庭的雰囲気を備えていると思います。玄関先に植木を置いたり、玄関に季節のお花を飾ったりしています。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やリビングに季節の花や入居者が散歩時採取してきた花を飾ったりしています。リビングには入居者の写真やスタッフと入居者様で作成した物を飾り、やすらげる様に工夫をしています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースであるリビングは狭いのですが、気の合う同士が隣に座れるように工夫をしたり、その時々で位置を変更したりと工夫をしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族の写真やホームで差し上げた誕生日カードを飾ったりしています。ご家族が持参された思い出の物などもご家族が自由に配置されたりしています。冷蔵庫を室内に置かれている方もおります。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	こまめに調節を行っています。一人の方のみがご自分で温度調整を行っており、お話をしてもなかなか聞き入れていただけない所があります。窓を開けることを嫌がり、換気も時々しか出来ない方がおります。		温度調整と換気をお願いしていますがご自分の思いが強く、話を聞き入れていただけない所があります。外出時などに本人了解の上で、換気を行っております。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下・トイレ・浴槽内には手すりが取り付けられています。階段には昇降機があり介助にて使用しております。建物内が狭いため、車椅子を使用しない時には折りたたみ端しよせて、歩行の妨げにならないように工夫をしています。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレなど自立の方が分かりやすいように矢印を張り、ドアの前にもトイレと書いた紙を貼り付けて工夫をしております。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	お庭を利用し家庭菜園やお花を植えています。入居者様といっしょに収穫を楽しんでおります。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、活き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

もともとは民家であった所なので家庭的な雰囲気を備えており、近所からも職員が来られており地域に密着したサービスができています。